

《今回の旅グルマ》

ELEMENT

車両協力：ALFLEX

〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町436-2

TEL.075-925-1313

ALFLEX
ADDSET TRAVEL VANS

いっぱい
写真撮るぞ!

お腹すいた~!
美味しいもの
食べた~い!

The Living of
ADDSET
Cool and Stylish



そうだ京都の海にカニ食べに行こう!!



大人女子ふらりくるま旅

今回の旅は京都の海! 京都に海のイメージはあまりないかもしれないが、日本海側に面しており、水質も良く、知る人ぞ知る穴場スポットとして有名なビーチがいくつかある。なんといっても、街の喧騒から離れ、落ち着いた雰囲気が漂う大人の海辺、といったところばかり。そんな通のコースを選んだのは、もちろん、大人女子な二人。美味しいもの、そして、きれいなものを求めて、京都の街中から北上して、自然豊かなドライブコースを抜けていく。さて、シーズン真っ最中のカニには出会えたのだろうか?

ここ行ってみたい?

いいね♡



気軽に! 便利に! RVパークの予約ができる!

RV-Park.jp

キャンピングカーの宿泊地を探したのは、新しくオープンしたRV-Park.jpのサイト。目的地周辺で検索して、予約までサポートしてくれる。さらに、RVパークの使い方や旅の情報など、お得な情報までゲットできるのが便利。



クルマで
海まで
駆けてこ!





KYOTO
1

日本海の海鮮を求めて、まずは舞鶴港から物色 道の駅で食材を物色&お昼ごはん

PM 12:00 道の駅とれとれセンター海鮮市場

気合いを入れすぎて、朝から何も食べていない二人。京都縦貫自動車を一気に北上して到着したのが、舞鶴湾に面した、道の駅とれとれセンター海鮮市場。市場には、たくさんのお店が並んでいて、新鮮な海産物が溢れている。

京都府と福井県にまたがる若狭湾のなかで、京都府側の東に位置するのが舞鶴港。京都随一の水揚げを誇り、たくさんの海産物が集まってくる港でもある。



陽気なおじさんとの会話も楽しい。旅先での出会いは旅の醍醐味でもある。ホタテを手に食べ方をレクチャー。そのトークに引き込まれる二人は終始笑顔であった。



いただきま〜す!

市場の中にあった海鮮丼とやや軽めの昼食。写真はねぎとろ丼。店内でも食べられるが、市場の共有テーブルで食べて、市場の海鮮を追加で楽しむのもいい。白ごはんのみの販売もある。



市場の名物がこの焼きサバ。脂が乗ったサバをその場で焼いて提供している。この焼きサバを使ったお寿司「焼きサバ巻」も人気。



新鮮な海鮮がたくさん売られているが、その場で焼いてくれるのがスタンダード。焼きたての浜焼きを堪能できるスタイルになる。



冷蔵庫
入れとくね!

今夜はBBQの予定。店頭で焼いてくれる浜焼きも魅力的だったが、今回はお持ち帰り。車の中には冷蔵庫があるので、海鮮の持ち運びも問題なし。冷蔵庫のありがたみを感じる。

道の駅 舞鶴港とれとれセンター

住所：京都府舞鶴市下福井905 電話：0773-75-6125
定休日：水曜日 営業時間：9:00～17:00(土・日は18:00まで)
<https://toretore.org>



日本三景 天橋立で絶景を満喫

PM 2:00 天橋立ビューランド

少しお腹を満たしたあとは、海沿いを西側に移動して、天橋立を天空から見学できる場所へ。天橋立ビューランドは周辺の景色を見渡せる山の上になって、リフトかモノレールで山頂まで移動する。移動中の景色も雄大で、展望台に登る前からテンションが上がる。頂上にはメリーゴーランドや観覧車など、ちょっとした遊園地施設もある。



山頂ビューランドまでの行き方は、リフトかモノレールの2つから選べる。



日本三景の1つ天橋立で有名なのが股のぞき。股の間から景色を眺めると、海が空に見えて違った景色を眺められる。天橋立ビューランドからの眺めは天に舞い上がる龍に例え「飛龍観」と呼ばれる。



龍いたー!



円盤上の土器を投げるかわら投げも有名。無人販売で土器を購入して、投げることで厄を落とせる。投げた時に福輪という輪の間を通すことができれば、願い事が叶うといわれている。

下山は、モノレールで天橋立を見ながら。手前に見えた大きなお寺が気になったので、急遽この後行ってみることに。



天橋立ビューランド リフト・モノレール山麓駅

住所：京都府宮津市文珠437 電話：0772-22-1000

定休日：無休 営業時間：9:00～17:30(季節により変動します。詳しくはホームページを参照ください。)

入園料及びリフト・モノレールご利用料金：大人(中学生以上)850円/小人(小学生)450円

※大人1人につき、乳幼児1人無料。乳幼児2人目から小人料金。 <http://www.viewland.jp>



境内に入って二人の目に飛び込んできたのは可愛い「すえひろ扇子おみくじ」。扇子を広げると、おみくじの文字が現れる。そのおみくじが木にたくさんぶら下げられているので、風が吹くとユラユラと揺れる不思議な光景が広がっている。

天橋立ビューランドから見た気になるスポット

智恩寺で健康と良縁を祈る

PM 3:00 智恩寺

「三人寄れば文殊の知恵」で知られる文殊菩薩が本尊として祀られ、合格祈願などで訪れる人が多い場所。室町時代に建設された多宝塔など、貴重な建造物も必見。大きな山門は江戸時代に建設されたもので、その完成までに7年かかったといわれている。荘厳な趣きと、細かいデザインが施された手の込んだ作りで目を奪われてしまう。

智恩寺

住所：京都府宮津市文珠466 電話：0772-22-2553

定休日：無休 営業時間：8:00～17:00 <https://www.monjudo-chionji.jp>



くるま旅
最高お!!



KYOTO
4

天橋立の美しい自然が育んだ葡萄で造るワインを求めて ワイナリーで今夜の1本を探す

PM 3:30 天橋立ワイナリー

大人女子の嗜み「ワイン」を手に入れるために訪れたのは、国産葡萄にこだわり、本場ドイツ仕込みの醸造技術を採用する天橋立ワイナリー。目の前に葡萄畑が広がり、店舗の地下にはワインセラーを備えている。世界に通用するワイン作りをモットーに、数々の賞を受賞するワインを生み出している。ここでしか飲めない発酵途中のワイン「フェーダーロータ」がおすすめ。



日本ワインコンクール2023金賞の「ナイヤガラや甘口」(左)。フルーティーな甘さと酸味のコンビネーションが絶妙。



ショップでは100円/杯で試飲ができる。ワイン選びに悩んだら、助手席の人に試飲をおすすめしてみよう。



敷地内にはレストランやパン屋さんも併設されている。天橋立を望む葡萄畑やワイン製造工場の見学も行われている。



天橋立ワイナリー

住 所：京都府宮津市国分123
電 話：0772-27-2222
定休日：水曜 営業時間：10:00~17:00
<https://www.amanohashidate.org/wein/>



KYOTO
5

久美浜町から続く6kmのロングビーチ 日本海に沈む夕日を求めて

PM 4:30 夕日ヶ浦海岸

京都府丹後市の夕焼けスポットで少し休憩。旅の疲れを癒す最高の景色が広がっている。きれいな夕日が見えたので、駐車場を探してサクッと予定変更。その自由なスタイルはクルマで動いているからこそ。寒くなってきても、クルマの中からダイナミックな夕日を楽しめるのも◎。



夕日ヶ浦海岸

住 所：京都府京丹後市網野町浜詰256-1
電 話：0772-74-9350 (夕日ヶ浦観光協会)
<https://yuukan.com>



にしがき浜詰店で人気なのが丹後のばら寿司。サバのそぼろを使ったちらし寿司のようなもの。しっかりと味付けされたサバが、錦糸玉子や紅しょうがと絡まり、食欲をそそる。

KYOTO
6

夜食と明日の朝食を買いにふらっと立ち寄り 地元のスーパーでお買い物

PM 5:30 にしがき 浜詰店



旅で楽しいのは、地元の食材を食べること。そのためにチェックしたいのが地元スーパー。訪れたにしがきは京都の地元スーパー。浜詰店はフラフラと訪れた夕日ヶ浦海岸のすぐ近くにあった。郷土料理として、この辺りで有名なサバのへしこが売られていた。京都丹後半島の伝統料理で、塩漬けた魚を米ぬかで漬け込み、発酵させた保存食品。熟成することで旨みが引き立ち、独特の味が病みつきになってしまう。

カニ&地元海産物でいざBBQ

PM 6:00 Hygge BASE 京丹後キャンプ場 RVパーク



車中泊をすることを目的に考えられてオープンしたRVパーク。
キャンプ場や一般的なRVパークとはちょっと違った上質な時間を過ごすことができる。
クルマでの旅を特別なものにするため、このような高規格RVパークに泊まるのもいい。



カニ
キターーーッ!!




グルメオプションプランを事前にオーダーしておけば、日本海で採れた地元産の海産物の盛り合わせを用意してもらえる。

日本海の冬の味覚といえばカニ。松葉ガニと呼ばれるズワイガニは冬に漁が解禁され、京丹後市や舞鶴市の漁港に水揚げされる。この日は茹で松葉ガニを手に入れたので、そのままバリ。松葉ガニのメスであるセコガニには内子と呼ばれる部位があり、その濃厚な味にハマる人も多い。

Hygge BASE 京丹後キャンプ場 RVパーク

住 所：京都市京丹後市久美浜町湊宮小字高山沖467-236

電 話：050-3138-4304 定休日：通年営業(不定休)

チェックイン：14:00～19:00 チェックアウト：特になし～10:00

<https://www.kurumatabi.com/park/rvpark/1060.html>

利用料金
(1泊/1台)

- スタンダード(ウッドデッキサイト) 8,800円～13,200円
 - ミッド(屋根付きウッドデッキサイト) 11,000円～15,400円
 - トップ(屋根付きウッドデッキサイト+コンテナハウス) 13,200円～17,600円
- ※ 時期によって料金が上記の通り変動致しますので、ご確認下さい。



RVパークのコンセプトは北欧の「ヒュッゲ」。居心地のいい空間を表していて、その言葉通りにバスルームは掃除がまめにされていて快適だった。シャワールームやトイレ、洗面所がきれいなことは女子にとっては大切。洗面を終えたら、クルマに戻って、眠たくなるまでトークが続いた。



いっぱい良い写真
撮れたね♡

KYOTO
8

憧れの雲海を目指し頑張って早起き

夜明け前のRVパークを出発

AM 5:00 Hygge BASE 京丹後キャンプ場 RVパーク

次の目的地に出現するかもしれないという「雲海」を見るため、2日目の朝は早かった。気温が上昇すると消えてしまうので、前日にRVパークの支払いと早朝のチェックアウトを告げて、夜明け前の出発となった。



朝が早かったが、車内で洗面を済ませることが出来るのは便利。車内にシンクがあるキャンピングカーならではの恩恵を感じる。



HYOGO
9

眠い目をこすり健康的に朝から山登り

日本のマチュピチュを目指す

AM 7:30 竹田城跡

その幻想的な写真を見てから、二人がぜひ訪れたかったのが兵庫県にある竹田城跡。山の頂上に城跡があり、河面から立ち上がる霧が谷を埋め尽くすと、まるで雲海に浮いているような城跡が見られる。その奇跡に景色を目指したが、この日は霧もきれいに晴れていた。



目的地は近畿日本鉄道の竹田駅前から徒歩で40分。もしくは、山城の郷という場所までクルマで移動して、そこからバスで中腹まで行き、さらに徒歩で20分かかる場所にある。



竹田城跡

住 所：兵庫県朝来市和田山町竹田古城山169 電 話：079-672-4003
 定休日：なし 営業時間：季節により変動します。詳しくはホームページを参照ください。
 観覧料：大人(高校生以上) 500円 / 中学生以下 無料
<https://www.city.asago.hyogo.jp/site/takeda/3102.html>



HYOGO
10

竹田城から降りてきたら竹田駅前でマッサージ 山登りの疲れをすぐ癒やす

AM 10:00 カフェ こり おおたがき整体院

往復で2時間近く歩いたので体がクタクタ。そんな時見つけたのが竹田駅近くの整体院。事前要約が必要だが、電話で空きを確認して、急ぎマッサージをお願いした。パンパンに張った足がほぐされていく。



マッサージ終了後、併設されているカフェでスムージーを飲んでカフェタイム。窓の外に見える山の頂上には、登ってきた竹田城址が見える。



城下町の面影を残す竹田駅前。古民家を改装したお店や酒蔵を改装したホテルなどが並ぶノスタルジック街の一角にお店がある。



カフェ こり おおたがき整体院

住 所：兵庫県朝来市和田山町竹田255 段々 1階
電 話：090-1248-7560 定休日：不定休
営業時間：10:00~20:00 <https://cafekori.com>



HYOGO
11

よりどり試食で大満足

最後はお土産を買って

PM 12:00 海鮮せんべい但馬

竹田駅からクルマで帰る途中、高速に乗る手前にあったのが海鮮せんべい但馬。店内に入るとお煎餅の香りが漂ってくる。併設された工場で作られたせんべいを購入できる。クルマだから思わず大量に購入してしまう。



北近畿豊岡自動車道と播但連絡道路が交差する和田山JCT、和田山インターもすぐの場所なので、くるま旅のお土産を買っ帰るのにちょうど良い場所にある。駐車場も広く大型のキャンピングカーでも気軽に入れる。



店内に試食コーナーがあり、いろいろな種類のお煎餅を食べ比べできる。休憩所ではコーヒーが無料で、ドライブの休憩ポイントにも最適。



海鮮せんべい但馬

住 所：兵庫県朝来市和田山町市御堂19-2
電 話：079-672-6767
定休日：なし
営業時間：9:00~18:00 <http://www.kaisen-senbei.jp>



広報誌くるま旅にキャンピングカーを貸し出してくださる企業様を募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。